

大学院への進学、おめでとうございます

キャリアパスデザイン推進室では、大学院生が自らのキャリアパスをデザインするのを援助するため、キャリアデザインに関する授業・講演会・セミナーなど企画実施、インターンシップの紹介、その他の助言・相談を行っています。また、各種研究資金・奨学金の応募に関する助言、学位をとるために必要なこと、大学院人材を求めている社会などについての情報も提供します。

大学院での研究の計は今にあります。お渡しする「大学院学生研究手帳」は、博士後期課程を例として編集されていますが、これを博士前期課程に読みかえても当てはまるどころが多々あります。自らの大学院修了後（4～5年先）をイメージして、博士前期課程をどのように過ごすのか、各自のより詳しい工程表を立て、研究手帳に記入しましょう。

キャリアデザイン推進室では、主には博士後期課程の学生の皆さんのお手伝いをしておりますが、前期課程から後期課程への進学を考えている皆さんへの情報提供や助言も行っていますので、気軽に相談してください。

キャリアパスデザイン推進室 (URL <http://career.gse.yamaguchi-u.ac.jp>)

常盤キャンパスは研究推進機構・産学公連携センター112室にてアドバイザー濱田

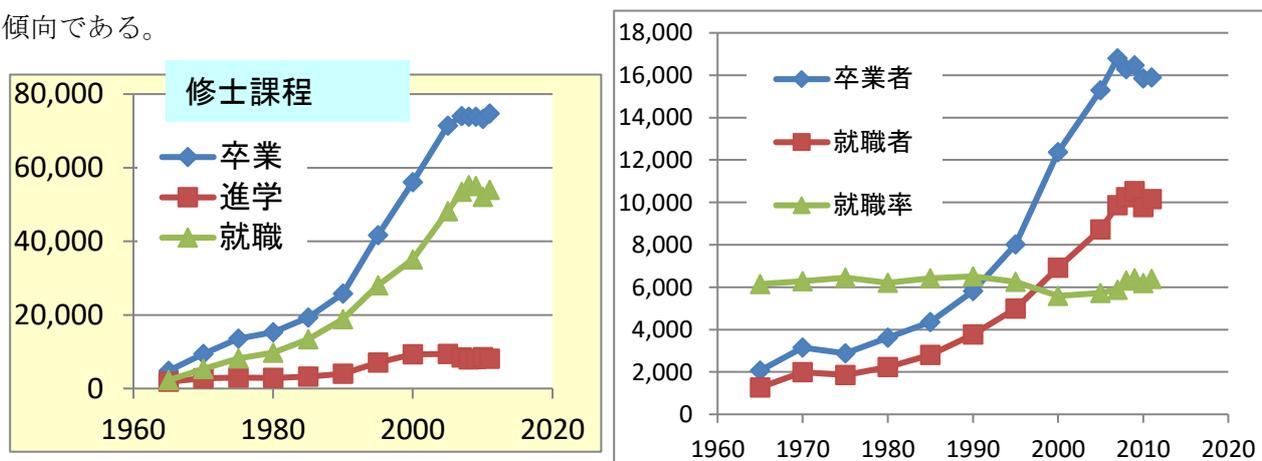
吉田キャンパスは理学部本館南棟 234室にてアドバイザー増山 [mashi@yamaguchi-u.ac.jp](mailto:mashi@yamaguchi-u.ac.jp)

が対応しています。URL <http://web.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~mashi/cp/>も参照して下さい。

**キャリアパス**：将来の目的や就業のために、学習や仕事の経験、能力開発を通して自らの能力を高めるために、行うべき計画を順序よく系統だて、それを具体化、明確化すること

## 資料 博士人材をめぐる統計データ

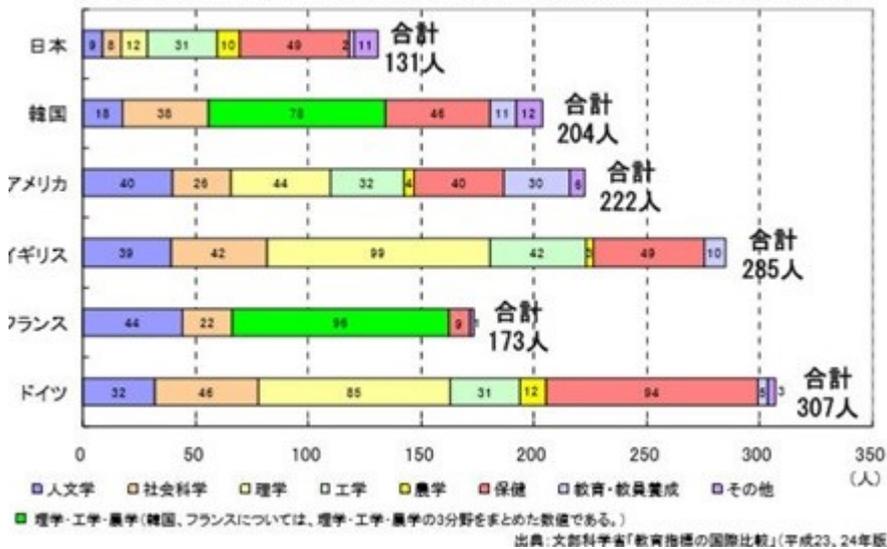
我が国では 1990 年代から大学院拡充策がとられ、社会人や外国人学生も急増し、博士課程修了者は増えてきたが、リーマンショックの前頃から就職率の低下が現れ、入学者が頭打ちとなり、最近では減少傾向である。



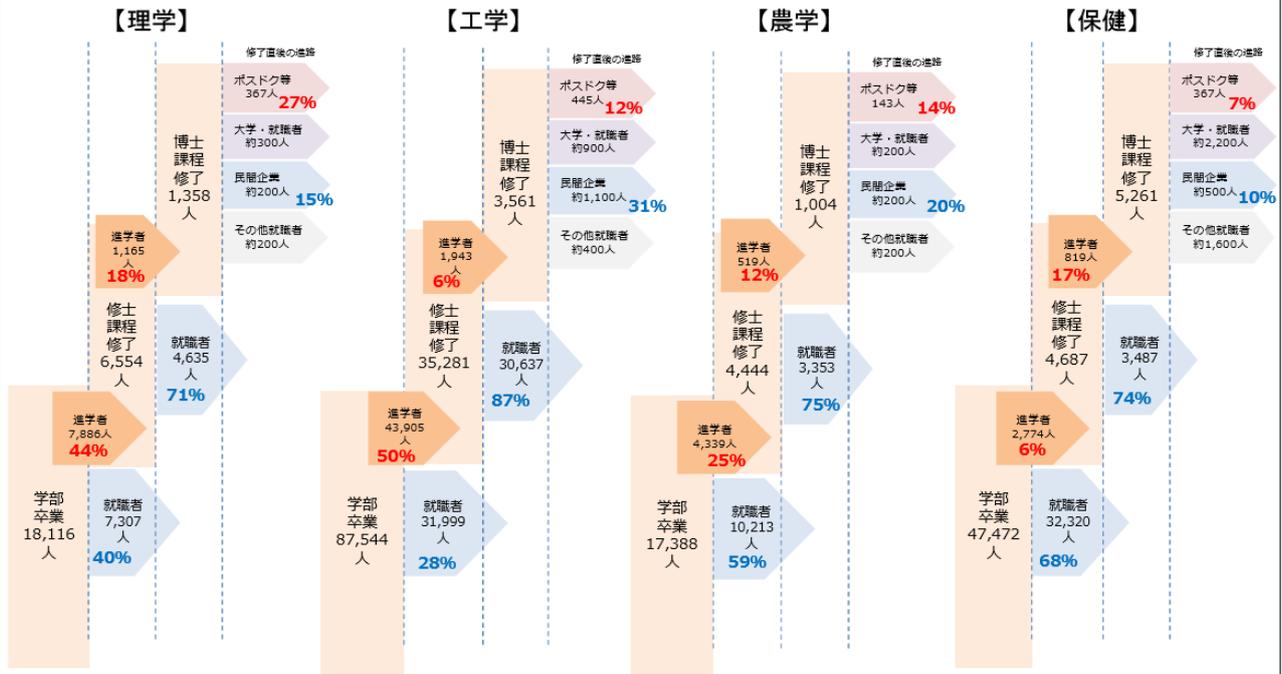
大学院拡充策がとられた背景には我が国の理工系の修士人材数は諸外国と引けを取らないが、博士人材数は半分程度であり、科学技術力を維持・発展するために必要であるとの政策判断による。

しかしながら、博士課程は「学歴」としてではなく、研究者の「資格」として社会から認識されている。アカデミアや研究所の主任研究員になるには必須の資格であるが、一般企業や公務員では就職の優位性は我が国では確立されておらず、大学院でどういう人材として育つかその内実が問われている。

主要国における人口100万人当たりの専攻分野別博士号取得者(2008年)



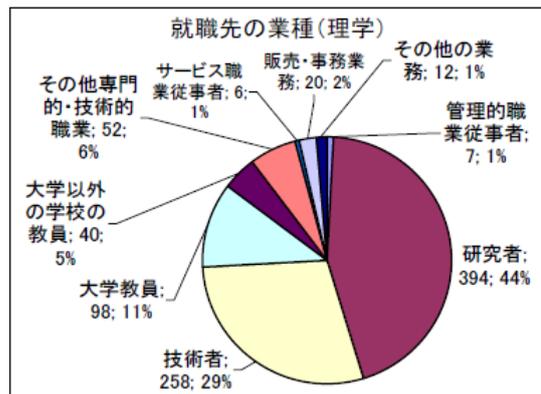
○ 修士課程修了後に博士課程へ進学する者の割合は、理学・農学・保健分野において高くなっており、博士課程修了後にポストドクターとなる者の割合は、理学分野において高くなっている。



※平成24年度学校基本調査(文部科学省)より作成  
 なお、ポストドクターを除く博士課程修了者の就職状況については、博士課程学生の経済的支援状況と進路実態に係る調査研究(文部科学省)に基づく推計値

2011年の分野別博士就職率

分野	博士取得者	就職者	就職率
全分野	15,892	10,150	63.9%
人 社 芸 家 教	3,328	1,374	41.3%
理 学	1,255	681	54.3%
工 学	3,370	2,399	71.2%
農 学	1,001	566	56.5%
保 健	5,068	4,105	81.1%
その他	1,870	1,025	54.8%



2009年の理学分野の博士の就職先